

BCP文書は経営方針そのものである

— 泰輝印刷株式会社 —

高級美術印刷にこだわった品質第一主義

泰輝印刷株式会社（代表取締役社長：水口憲二）は、昭和49年設立の40年の歴史を有する印刷業者である。

設立当初より品質第一主義を貫き、業界に先駆けて最新鋭の印刷機械を導入し、自社の技術力と相まって高級美術印刷を可能にする高いパフォーマンスを発揮、また、検品・発送に至るまで徹底した品質管理の実施により他の追随を許さない競争力を誇っている。

更に高いコンピュータ専門知識を有し、CTP技術※の導入によるデジタルオートメーション化を実現。今まで培った印刷技術との融合により、品質・コスト・納期においてお客さまのニーズにきめ細かく対応している。

※CTP(Computer to plate:印刷データを製版フィルムを介さず直接刷版に焼き付けて出力する手法)



最新鋭の印刷機器の導入

業界に先駆けてハイデルベルグ社製菊全判 8 色両面兼用印刷機及び次世代枚葉、菊全判 6 色印刷機に加え、昨年末に老朽設備の代替え更新として、リョービ M H I 製菊全判 5 色 L E D - U V 付印刷機を導入、併せて既存の印刷機を含め全台にオンライン検査装置を設置し、印刷工程における高い品質の提供と生産性向上を目指して取り組んでいる。



「機動力」「対応力」「提案力」をフル稼働

営業面では、お客様のこだわりや細かい要望に応えるため、お客様との対話を重視し、常に現場を確認することで、高いクオリティを実現する。更に、この対話から得られる情報を通じて新たなアイデアを提案し、お客様の問題解決に貢献、満足度の向上を目指している。

BCP策定への取り組んだ理由

東日本大震災の発生以降、BCPの作成については社内で検討課題となっていたが、内容が複雑で多岐に亘るため、社内のリソースの関係もあり、着手することが出来ずにいた。

板橋区より一日で完成できる簡易型BCP作成の案内を受け、作業のボリューム的に対応可能と判断し、2013年7月にセミナーおよびワークショップに参加した。

BCPの策定は、単なるマニュアル造りに留まらず、経営方針そのものであることが判り、自社の経営資産の棚卸、方針の再確認などに役立つことより、策定に取り組むこととした。



泰輝株式会社
代表取締役
水口 憲二 氏

策定にあたり特に注力した点

- 被災時に優先して取り組む事項を検討するにあたり、先ず会社の経営方針に立ち返り物事の優先順位を定めるようにした。
- 実際に被災した際に、現実使えるかどうかを優先して、BCPに盛り込む書類の取捨選択を行った。
- 当社の最重要資産である人（従業員・OBの連絡先）、モノ（設備機械に関する書類、工場のレイアウト、電源他）、お客様（顧客先の連絡先）を整備し、被災の際直ちに連絡を取れる様にした。
- 今後は、協力工場にもBCP策定を勧め、企業グループ全体での事業継続体制の充実を図って行きたい。



BCP策定の感想・効果

BCP策定の過程で業務の見直しや文書化することにより業務の見える化を図ることが出来た。

また、業務の無駄の発見に役立ち、業務プロセスの見直しや効率化の検討材料とすることが出来た。

当社を被災時の事業継続の体制を整えている企業として、お客様からの信頼を高めることが出来て、営業面での効果が表れている。

当社の事業内容やお客様の要求内容が、変化していく中、今後定期的に見直しを実施することで、BCP書類が常に事業の実態を反映したものにして行きたい。

事業者情報

事業者名	泰輝印刷株式会社
本社所在地	板橋区前野町2-19-1
設立	昭和49（1974）年9月
資本金	2,800万円
従業員数	46名
代表者	水口 憲二
Tel	03-3968-0225
URL	http://www.taiki-pc.co.jp